



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[9月号]

◎シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.82 | ミシガン工科大学准教授 南方大輔氏を訪ねて ラジカルに魅せられてアメリカへ激烈な競争社会で生きる…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎真柄泰基氏(簡水協相談役)日本原料(株)高萩工場を訪問「高萩工場は水道の聖地である」齋藤安弘社長と現地対談 シフォンタンクで課題克服…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎ 現地ルポ 妙高市ガス事業譲渡と上下水道事業包括委託「妙高モデル」が目指すもの～複合ユーティリティサービスにおける官民連携～…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎山口タスキの闘病日記～くも膜下出血とその後の経緯について～水道技術経営パートナーズ(株)代表(公社)国際厚生事業団JICWELS水道技術参予 山口岳夫 ◎過去最大規模で大盛況 第55回管工機材・設備展…月刊コア編集部 ◎今後のマンション政策の方向性をとりまとめました!!…国土交通省 ◎令和5年度(2023年度)建設投資見通し…国土交通省 ◎全国15河川が「水質が最も良好な河川」に…国土交通省 ◎「スマートシティサービスの連携ユースケース」の公開…国土交通省 ◎新たな「国土形成計画(全国計画)」及び「国土利用計画(全国計画)」を閣議決定…国土交通省 ◎ミナミサワ 東管協組 メンテ委員と意見交換 第2回オーダー会開く…月刊コア編集部 ◎「特別インタビュー」PPIパイプ日本支社長 三枝 誠氏がアビール 知名度アップに全力 積極的に展示会出席…月刊コア編集部 ◎[PRESS RELEASE]北海道大学・北島正章准教授、塩野義製薬、AdvanSentinelが第6回日本医療研究開発大賞「健康・医療戦略担当大臣賞」を受賞…北海道大学、塩野義製薬、AdvanSentinel ◎「明日への道標」これより大いなる愛はなし―荻野吟子 医師への誓い…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎東京見て歩き(116)片倉城跡高幡不動尊…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎特別連載「平成を偲ぶパロディ狂歌集(53)一平成一人百首 雑③(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計 [2023年6月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[10月号]

◎シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.83 | 山梨大学大学院 総合研究部 工学域土木環境工学系 准教授 八重樫咲子氏を訪ねて「ヒゲナガカワトビケラ」は壮大な環境指標土木工学の中に環境の視点を…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎使用済紙おむつの再生利用等の促進に関するプロジェクトの検討結果取りまとめについて…環境省 ◎「地域コンソーシアム形成等を通じた地域脱炭素投資促進事業」における「中・南九州地域コンソーシアム」の設立について…環境省 ◎こどもエコすまいる支援事業の予算を約209億円増額します…国土交通省 ◎海外インフラプロジェクト相談ホットラインの運用を開始…国土交通省 ◎流域治水の推進に向けた普及施策の行動計画をとりまとめました…国土交通省 ◎誰もがハザードマップを理解し、避難に活用できるようにするための取組を進めます…国土交通省 ◎建設工事における「安全衛生対策項目の確認表(参考ひな形)」を作成しました…国土交通省 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告(概要)…国土交通省 ◎新しい国民運動「デコ活」第2弾について…環境省 ◎サービス付き高齢者向け住宅を整備する事業者を支援します!…国土交通省 ◎ミナミサワ 環境配慮型経営を実践ものづくりに活かす全てまぜやってみる 南澤俊文社長に聞く…月刊コア編集部 ◎「小水力発電設置のための手引き」を改訂しました!…国土交通省 ◎「ニューストピックス」全国下水サーベイランス推進協議会が設立 ◎「ニュースファックス」関東大震災100年でシンポジウム「まちづくり・インフラ整備」を考える ◎「明日への道標」みんなで見る夢は―ジョン・レノンのイマジニ―…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎東京見て歩き(117)市ヶ谷の釣り堀…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎特別連載「平成を偲ぶパロディ狂歌集(54)一平成一人百首 雑④(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計 [2023年7月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

天井のない監獄の異名を持つパレスチナ自治区ガザが存亡の危機に瀕している。ガザを統治するハマス(イスラム抵抗運動)の武装蜂起的総攻撃に対してイスラエルのネタニヤフ政権はガザ全域への無差別報復空爆を開始した。ガザを悪魔の街と呼び、地上軍による全面制圧が叫ばれている。

西アジアの地中海東岸に位置するパレスチナは常に戦火にさらされてきた。発端はイスラエルの建国に遡る。ナチス・ドイツによる大量殺戮を逃れたユダヤ人は1948年、パレスチナ中心部を占拠してイスラエルを樹立し、パレスチナ難民を排除してきた。欧米先進国はイスラエルを支持し、パレスチナ・アラブ諸国との中東戦争が勃発する。

わたしは学生時代、エドワード・サイードの著作でパレスチナ問題について学んだ。サイードはパレスチナのエルサレムで生まれ、アメリカ移住後、ハーバード大学で文学の博士号を取得する。代表作の『オリエンタリズム』ではアジアや中東に対する西洋の植民地主義的偏見を批判する一方、パレスチナ・アラブ人とユダヤ人が敵対せず平等の権利を持つ新たな国づくりを提唱していた。

ガザには約220万人が居住し、支援団体による救援物資が届かなければ生きられない極限状態を強いられてきた。平均年齢は世界でもっとも低く、約半数が18歳未満だという。わたしはピアノの名手だったサイードがパレスチナ・アラブ諸国とイスラエルの若き音楽家たちを集めてコンサートを開いていたことを思い出す。子供たちの命が失われるほど人間の未来も失われていく。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第408号

令和5年11月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884